



県内初！口腔機能の全項目健診を始めます！

～食べる機能の低下から始まるフレイルを避け！！～

大府市では、生涯、自分の歯で食べることができるよう、8020 表彰や歯周病予防を目的とした成人歯科健診等の「歯の本数を減らさない」事業を実施してきました。新たに口腔の機能面に特化した健診、食べる機能（口腔機能）健診を実施します。「口腔機能を低下させない」事業を展開し、低栄養や誤嚥性肺炎等の予防を図り、健康寿命の延伸を目指します。

■「食べる機能健診」の概要

目的／高齢者が精神的、身体的に健全な状態を保ち、生きがいのある生活や自立した生活を営むためには、「食べること」は非常に大切な要素です。早い段階から口腔機能の低下に気づき、口腔内の状態を整えたり、意識したりすることによって、口腔機能の低下から始まるフレイルを予防します。

日本老年歯科医学会が位置づけた「口腔機能低下症」の診断基準をもとにした全ての項目を健診し、内容を数値化することで自分の口腔機能を客観的に確認することができます。

対象／75 歳以上のプラチナ長寿健診を受けた方

実施日時／6 月 29 日～2 月 1 日（計 15 日）

10 時 30 分～12 時 30 分 13 時 30 分～15 時 30 分

場所／公民館、市役所、保健センター

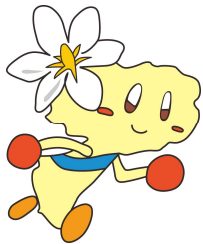
健診内容／プラチナ長寿健診と併せて実施

健診内容		方法
歯科健診		歯科医師による歯牙・歯周の健診
※ 口 腔 機 能 健 診	①口腔細菌数	細菌カウンタによる測定 総微生物数を機械で測定し、口腔内の清掃状態を確認。 歯頸部（残存数が少ない人は舌背）で採取する。
	②口腔乾燥	口腔水分計ムーカスによる測定 舌背に機械を 2 秒間あて、乾燥状態（乾燥感）をみる。
	③咬合力	オクルーザルフォースによる測定 噛む力の左右のバランスを確認するもの。
	④舌口唇運動機能	舌口唇における運動の速度と巧緻性を計測する。5 秒間で「パ」「タ」「カ」の発音それぞれを発音。1 秒間の回数を測定。
	⑤低舌圧	JMS 舌圧測定器にて測定 口蓋前方部で舌圧プローブのバルーンを舌と口蓋との間で数秒間押しつぶした圧力を測定する。



⑥咀嚼機能	グミゼリーを咀嚼後のグルコースを測定 2g のグミゼリーを 20 秒間咀嚼したあと、10ml の水で含漱、グミと水をろ過用メッシュに吐き出す。メッシュを通過した溶液中のグルコース溶出量を機械にて測定する。
⑦嚥下機能	嚥下スクリーニングツール(The 10-item Eating Assessment Tool (EAT-10))を使用。
保健指導	健診結果に基づいた歯科衛生士による指導

料金／無料



【問い合わせ先】

大府市役所 健康増進課

担当：本多 さおり（ホンダ サオリ） 島田 真希（シマダ マキ）

電話：0562-47-8000

FAX：0562-48-6667

E-mail：hkn-c@city.obu.lg.jp